

② 組織・機構の改革

市民部を新設し協働のまちづくり推進

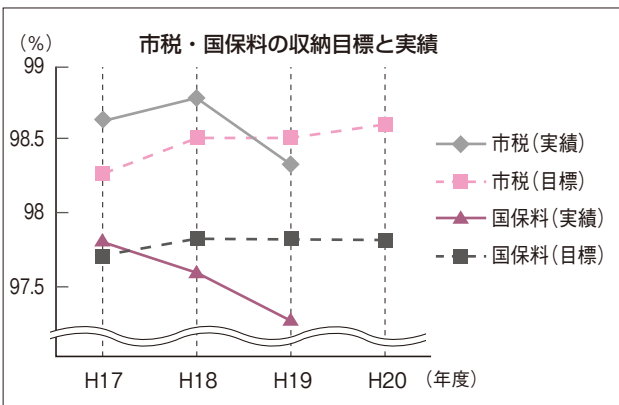
市民との協働のまちづくりを進めるため、市民部（市民課・市民活動推進課・生涯学習課・スポーツ振興課）を新設、支所の組織体制を機能的にするため、これまでの5課から2課へ統合しました。また、市内を3つの地域に分けて業務を行う保健師のブロック制も導入しました。

③ 財政の改革

収納率向上や公共工事の設計・手法を見直し

公共工事コストの工法などを見直し、効率的な設計・施工を行った結果、約2億3千万円を削減しました。

市税の収納は、税務署OBを徴収指導員として委嘱し、職員の収納技術の向上を図ったほか、差押物件のインターネット公表に取り組みました。なお、現年課税分の収納率は98・35%となりました。収納率の向上は、収入の確保はもとより、負担の公平性からも重要であり、引き続き厳しい姿勢で臨んでいきます。



一方、民生児童委員については、担当地区や委員数の見直しを行い、適正化を進めました。消防団組織については、災害活動団員制度の導入を決定しました。自主防災組織の充実では、未結成町内会への組織化を進めた結果、新たに69組織が結成され、合計290組織となりました。

④ 事業の改革

支所の複合施設化や窓口サービスの充実も

公民館と図書館を合築する丹生川、清見支所の複合施設化や一之宮支所と教育研究所・大学連携室の併設などを進めたほか、地区公民館の地縁団体への譲渡、学校給食朝日センターの廃止、国府町にある有線放送施設の民営化を行いました。

市民サービスの向上や経費の削減を目的に積極的に取り入れている指定管理者制度は、モンデウス



指定管理者制度を導入した上宝ふるさと歴史館(上宝町本郷)



耐震化と併せて複合化の工事が進む清見支所

スキー場や市営住宅管理などに導入。導入施設は286施設(対象308)となりました。

一方、本庁の窓口業務の時間延長(毎週月曜午後7時まで。毎月第2・4土曜日午前9時～正午)や、昼間に予約した各種証明書を夜間に受け取ることができる証明書等夜間交付サービス(平日・支所限定)を新たに開始して、市民サービスの充実を図りました。